

平成30年4月

新しい弘前市の教育が始まります

～郷土を誇りに夢を育む「教育自立圏」の構築～

小中一貫教育とコミュニティ・スクールが スタートします。

小・中学校9年間を通した連続性のある教育を行います



ひろさき学（りんご収穫体験）

【小中一貫教育】

子どもの声・意識調査などに基づき、中学校区で目指す子ども像（15歳の姿）を設定し、小学校と中学校が共有しながら、義務教育9年間を通した教育を行います。

また、弘前市の歴史や文化などを学ぶ「ひろさき学（まんじ）学」や、運動をテーマに健康について学ぶ「弘前式健康教育コアカリキュラム」などを、共通性・連続性をもって取り組んでいきます。

地域とともにある学校づくりを進めます



地域の方と一緒にいった夏休み書道教室

【コミュニティ・スクール】

学校、家庭、地域が協働して、子どもたちの学びと育ちを支える、コミュニティ・スクールを推進します。具体的には、学校又は中学校区に学校運営協議会を設置し、地域や家庭の声を踏まえた学校運営を行います。学校も積極的に地域と関わり、地域コミュニティの活性化の一役を担います。

また、このコミュニティ・スクールと併せて、教育活動を支援するために、学校と地域のパイプ役となる地域コーディネーターを配置します。

※弘前市では、コミュニティ・スクールと地域コーディネーターを組み合わせ「地域学校協働システム」といいます。

教育自立圏とは・・

子どもの健やかな成長に向かって、小・中学校、家庭、地域が力を合わせて9年間の学びと育ちを支える中学校区のことをいいます。

弘前市教育委員会

取組の紹介

調査研究校では、平成28年度から2年間それぞれの学校や地域の実情に応じて、工夫をしながら様々な取組を進めてきました。
(裾野、東目屋、第三、石川の各中学校区)

- ・小・中学校共通の授業づくりのルール化
- ・弘前城の歴史を学ぶ社会見学（ひろさき記学）
- ・学習発表会での衣装着付けボランティア
- ・地域と学校による校内桜保存プロジェクト
- ・地域の方も参加した小学校健康会議
- ・中学校区の郷土を学ぶ「郷土かるた大会」など

小中一貫教育の取組例



小学校での中学校の先生による乗り入れ授業



小学校からの中学校への円滑な接続を目指した授業づくり



授業後の小・中学校の先生による意見交換

コミュニティ・スクールの取組例



学校図書室での図書整理ボランティア



学校・家庭・地域が一緒になって行った学校の桜保存活動



小・中学校による地域活動（除雪活動）



ホームページからも詳しい情報がご覧いただけます。
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/kyouiku-jiritsu/index.html>

■ 問い合わせ
弘前市教育委員会
学校づくり推進課 ☎82-1645
(平成30年1月作成)

